

# 「東海村総合力計画 みらいづくりの羅針盤」（仮称） 計画書イメージ

訂正箇所

※本資料は総合計画書のイメージをご覧いただくための参考資料です。構成・内容等は  
今後のご協議の内容を踏まえ変更してまいりますので、あらかじめご承知おき下さい。



計画策定によせて



東海村長 山田 修

## 目次

計画策定によせて .....	2
はじめに .....	4
<b>1 総合計画をなぜかえるのか .....</b>	<b>5</b>
(1) これまでの総合計画 .....	5
(2) 激変する社会環境 .....	5
(3) これから求められる総合計画 .....	5
<b>2 新たな計画のあらまし .....</b>	<b>7</b>
(1) 計画の名称 .....	7
(2) 計画の構成 .....	7
(3) 計画の期間 .....	7
(4) ミッション・ビジョン・バリュー .....	8
(5) まちづくりの目標 .....	10
<b>3 新たな総合計画実現のための取組 .....</b>	<b>11</b>
(1) 目標の体系 .....	11
(2) 重点政策パッケージ .....	13
<b>重点政策パッケージ 1 テーマ：「人口減少対策」 .....</b>	<b>14</b>
<b>重点政策パッケージ 2 テーマ：「新たな基盤整備」 .....</b>	<b>15</b>
<b>重点政策パッケージ 3 テーマ：「DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」 .....</b>	<b>16</b>
<b>重点政策パッケージ 4 テーマ：「安全・安心の確保」 .....</b>	<b>17</b>
<b>4 新たな総合計画を通じた本村の将来像 .....</b>	<b>18</b>
<b>5 今後の推進体制と管理 .....</b>	<b>19</b>
(1) 地域幸福度の向上に向けて .....	19
.....	20
(2) 計画の推進体制 .....	20
(3) 計画の進行管理 .....	20
資料編 .....	21
(1) 各重点政策パッケージでベンチマークする地域幸福度指標のカテゴリーについて .....	21
<b>重点政策パッケージ 1 テーマ：「人口減少対策」 .....</b>	<b>21</b>
<b>重点政策パッケージ 2 テーマ：「新たな基盤整備」 .....</b>	<b>22</b>
<b>重点政策パッケージ 3 テーマ：「DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」 .....</b>	<b>22</b>
<b>重点政策パッケージ 4 テーマ：「安全・安心の確保」 .....</b>	<b>23</b>

## はじめに

～宣言～

新型コロナウイルス感染症

デジタル・リモート・3密

ウクライナへのロシアの軍事侵攻

地球沸騰化

物価高・円安・株価最高値

能登半島地震

台風13号による被害

5年前、私たちはこれ程までに変化した暮らしを想像し得たでしょうか。

激流にも似た時代の変化に耐えうるには、

常にゴールは携えながらも、「機動力」と「柔軟性」を併せ持ち、改革やチャレンジを恐れな  
いところ。

このような村政運営が求められています。

持続可能な本村を目指していくため、

総合計画は劇的に変えることを宣言いたします。

**貴課作成**

## 1 総合計画をなぜかえるのか

### (1) これまでの総合計画

総合計画とは、長期的な展望に立って本村の目指すべき将来像を描くとともに、その実現に向けて総合的なまちづくりを進めるために実施する施策や事業の内容を示したものであり、東海村における最上位の計画と位置付けられてきました。

東海村では、令和2（2020）年度に『東海村第6次総合計画』を策定し、「輝く SONZAI つながる TOKAI 〜共に生き 共に育つ しなやかで活力あるまち〜」を将来ビジョンに掲げ、その実現に向け、さまざまな施策を展開してきました。

### (2) 激変する社会環境

我が国では急速な少子高齢化が進展し、特に地方の人口減少が社会問題となっています。令和5（2023）年12月に国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」）が発表した最新の人口推計によれば、令和32（2050）年の本村の総人口が33,173人とされ、現在の37,891人から大幅な減少が見込まれます。

また、東海村第6次総合計画の策定から5年が経過し、この間、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による人々の生活様式の変容や、Society 5.0<sup>1</sup>の実現に向けたICT等の情報通信技術の急激な進歩、経済や人々の動きのグローバル化の進展、ますます激甚化する自然災害、さらにはSDGs<sup>2</sup>の取組みの広がりや持続可能性の確保に向けた環境意識の高まりなど、本村を取り巻く環境や、そこで暮らす人々の意識は急激に変化しています。

さらに、国による地方分権・地方創生の一層の推進のなかで、地方自治体にはより効率的で柔軟な行財政運営が求められるとともに、自立した行財政経営が求められています。

### (3) これから求められる総合計画

EBPM について追記

行政や地域を取り巻く外部環境の先行きが見通しづらくなっている今日においては、政策の成果や因果効果を示すエビデンスを重視したより機動的で柔軟な政策の形成と評価が求められています。また、組織の戦略に関する概念として、軸足を置いたまま自分の体の向

<sup>1</sup> サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会のこと。

<sup>2</sup> 2015年9月国連で採択された「持続可能な開発目標」のこと。「誰一人取り残さない」という理念のもと、「持続可能な世界を実現する」ことを目指した、2030年を達成期限とする17のゴール、169のターゲット、および、その進展を評価するための指針を持つ包括的な目標で構成される。

きを変える方向転換のことを、「ピボット」と表現しますが、行政においても根本的な価値観を軸としつつ、実行をする中で状況の変化に応じて柔軟に対応し、より効果的なあり方を探索することが求められています。

さらに、本村が将来にわたって持続可能な発展を遂げていくためには、村民、事業者、団体、行政が連携・協働して、東海村の「総合力」を発揮していくことが求められています。そのためには、それぞれの主体の行動の羅針盤となるように、めざすべき村の方向性を分かりやすく示すことが必要です。

このような認識のもと、「村民、事業者、団体、行政の協働により、東海村の総合力によって実現するまちづくりのための計画」として、本計画を策定します。新たな総合計画に基づき各主体の総合力による取組を進めることで、令和 32（2050）時点で概ね **36,000** 人程度の人口水準が維持されるという将来人口展望を掲げます。

村の総人口の推移と長期的な見通し（人口ビジョンより）



## 2 新たな計画のあらまし

### (1) 計画の名称

別紙参照

### (2) 計画の構成

本計画は、東海村自治基本条例における総合計画に相当する計画と位置付け、ミッション・ビジョン・バリューと各ビジョンに基づく重点政策パッケージ、実施計画によって構成されます。

より機動的で柔軟な財政運営を実現するため、これまでにないフレキシブルな内容としています。

総合計画であること追記

### (3) 計画の期間

本計画の期間は、令和7（2025）年度から令和11（2029）年度までの5年間とします。

実施計画に掲げる事業は、情勢変化や村民ニーズを見極め、毎年度、弾力的に、かつ、積極的に見直しや補完を行っていくこととします。

#### (4) ミッション・ビジョン・バリュー

新たな計画の策定にあたり，新たな試みとして，日ごろの村民の意見等を踏まえながら，ミッション，ビジョン，バリューについての議論を行いました。これらの概念は，社会の中で組織の存在意義を示すもので，組織の構成員にとって仕事をする上で拠り所となるものです。東海村のミッション・ビジョン・バリューは下記の通りです。

##### ① ミッション

本村の定義：村が果たすべき使命・目的  
不変／可変：不変的で変わらないもの

ひとりひとりの<sup>おもい</sup>"想い"をつなぎ 誰もが<sup>だれ</sup>"幸せ"<sup>しあわせ</sup>になれる「いいムラ」をつくる<sup>つくる</sup>

##### ② ビジョン

本村の定義：村が組織として実現したい未来・将来像，中期的な目標  
不変／可変：村民のニーズによって変わりうるもの

こども・わかものの活躍を応援する，  
若々しく住み心地・暮らし心地のよいまちの実現

新たなにぎわいを生み出す都市基盤のデザインとまちなみの整備

暮らしの便利さを高め，働き方を変えるDXの推進

多様性を基礎とする防災対策と心理的安全性を高めるセーフティネットの構築

##### ③ バリュー

本村の定義：住民・企業・行政等が持つ行動基準・思考や行動の指針  
不変／可変：不変的で変らないもの

語り合い 通じ合う心を大切にします。

共に挑戦し創り上げる心を大切にします。

今と未来のためにみんなが行動します。

## 【ミッションに込められた意味】

### “想い”をつなぐ

東海村は、昭和 30（1955）年 3 月 31 日に村松村、石神村が合併して誕生しました。令和 7（2025）年 3 月 31 日には、「東海村発足 70 周年」という大きな節目を迎えます。

東海村は、原子力とともに発展してきた歴史を持ちます。昭和 31（1956）年に日本原子力研究所の設置が決定して以降、次々と原子力関連事業所や研究機関が立地し、現在では、最先端科学と豊かな自然、ゆかしい歴史が融合する、大変まれな地域となっています。

本村は、原子力との関わりという大きな変革の中であって、従来から住んでいた方々と、新たに移り住んできた方々が出会い、対話し、連携協力し、ほかにはない「新たなまちの姿」を生み出してきました。人々の永年にわたる「融和」「調和」がなければ、現在の村の姿にはなり得なかったといえます。

すなわち、東海村では過去から現在に至るまで、一人ひとりが自らの“価値観”や“考え方”、“想い”を大切にするとともに、他者の“想い”にも敬意を払い、同じように大切にし、それを「つなぎ」「紡いできた」歴史を有します。このような“想い”を、今後 100 年、150 年とつないでいくこと、これもわたしたちの重要な使命であるという考えを込めました。

### “幸せ”になれる

近年、人々が身体的、精神的、社会的に良好（健康）な状態にあることを意味するウェルビーイング（well-being）の重要性が世界的に注目されています。地方自治体の究極の使命は、このようなウェルビーイングの実現であり、それはいわば「幸せ」の実現と言い換えることもできます。

そこで、東海村で暮らす住民誰もが幸せを実現することができることを目指します。

### “いいムラ”を創る

本村では、シティプロモーションのブランドメッセージとして「いいムラ」というコンセプトを発信してきました。これまで、“つなぎ”“つむがれてきた”想いや幸せを、ブランドメッセージに乗せて次世代へバトンタッチしていくことを目指します。

また、“創る”には、バリューに示されるように、協働によって新たな価値を創り出していく（協創）という意味を込めています。

なお、ミッションにはルビ（フリガナ）を振ることで柔らかさを表現しています。

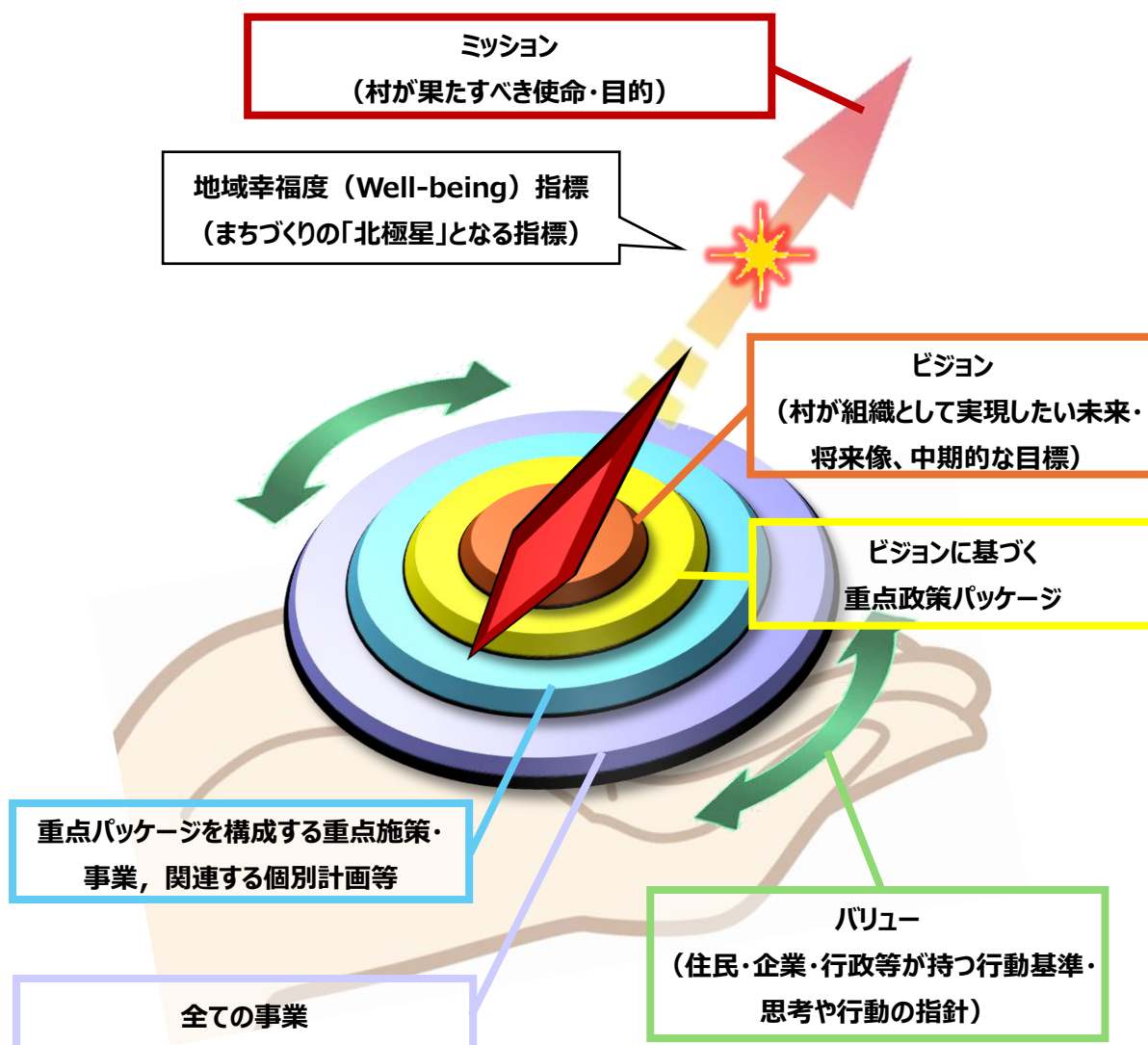
本村ではミッションに基づきビジョンを示し、その実現のための具体的な価値基準としてバリューを定めています。

## (5) まちづくりの目標

本計画では、ミッション、ビジョンを定め、バリューに基づく行動によって達成される計画のあり方を、「羅針盤」をモチーフにして表します。

村が協働による総合力で目指すまちづくりの「北極星」となる指標として、「地域幸福度（Well-being）指標」を設定しており、地域で暮らす人びとの幸福度を高めることを目指してまちづくりをすすめます。

また、羅針盤を持つ手は東海村の総合力の発揮を示しており、幸福度の向上という終わりのない目標を目指すために、常に現在地を確認しながら歩みをすすめる様子をあらわしています。



### 3 新たな総合計画実現のための取組

#### (1) 目標の体系

新たな総合計画では、目標に地域幸福度（Well-being）指標を活用することで、計画の推進を通じた村民の地域幸福度の向上への寄与を目指します。

#### 地域幸福度の向上目標

令和 11（2029）年度に、幸福度 7.0（平均値）を上回る。

#### 地域幸福度の基準値

結果を追記

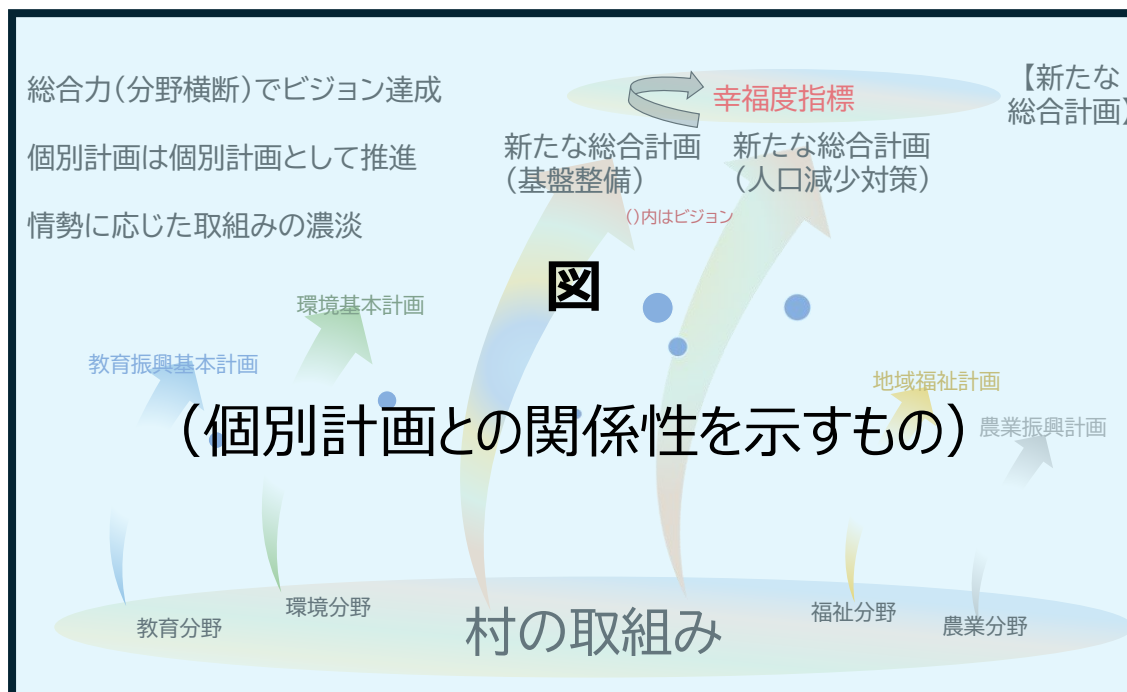
令和 6（2024）年度の幸福度 7.0（平均値）

#### 地域幸福度（Well-being）指標について

地域幸福度(Well-Being)指標とは、客観指標と主観指標のデータをバランスよく活用し、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を指標で数値化・可視化したものです。地域における幸福度・生活満足度を計る 4 つの設問と、3 つの因子群（“生活環境”、“地域の人間関係”、“自分らしい生き方”）から構成され、因子群は合計 24 のカテゴリーに細分化されます。

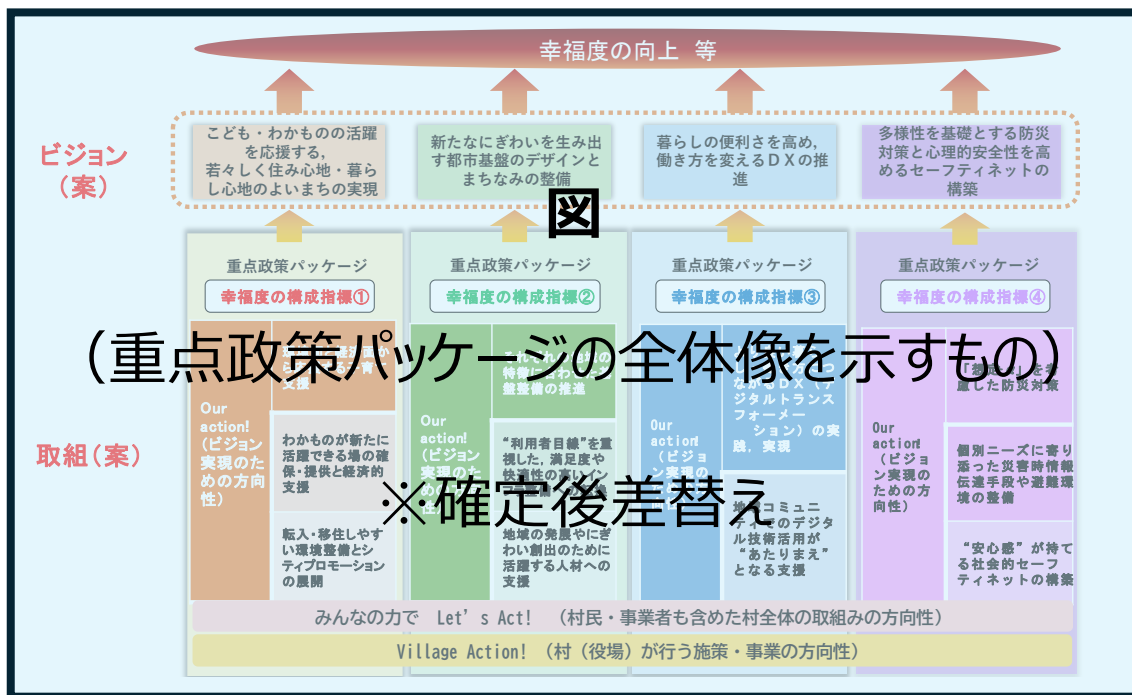


また、各分野を横断する総合力によってビジョンを達成していくため、総合計画と共に、それぞれの分野で定める個別計画を推進していきます。



## (2) 重点政策パッケージ

各ビジョンを達成するための重点施策・事業群で構成される重点政策パッケージを設けます。



それぞれの重点政策パッケージには、個別計画に基づく各種の施策・事業の推進の参考とするため、地域幸福度(Well-Being)指標を構成する因子のうち、変化をベンチマークするカテゴリーを設定しています。また、Our Action! (ビジョン実現のための方向性)、みんなの力で Let's Act! (村民・事業者も含めた村全体の取組みの方向性)、Village Action! (村(役場)が行う施策・事業の方向性)を示しています。

みんなの力で Let's Act! , Village Action !

日本語訳の検討

## 重点政策パッケージ1 テーマ：「人口減少対策」

こども・わかものの活躍を応援する，若々しく住み心地・暮らし心地のよいまちの実現

結果を追記

### 地域幸福度（Well-Being）指標の構成カテゴリー

因子	主観	客観
子育て	69.1	51.8
多様性と寛容性	49.3	42.6

【出典】2024 年度版(令和 6 年度版) Well-Being 個別調査より，数値は偏差値を示す。

### Our Action！（ビジョン実現のための方向性）

- 1 環境面と経済面から応援する子育て支援
- 2 わかものが新たに活躍できる場の確保・提供と経済的支援
- 3 転入・移住しやすい環境整備とシティプロモーションの展開

### みんなの力で Let's Act！（村民・事業者も含めた村全体の取組みの方向性）

- 1 地域・事業者とともに子育てをサポートする機運・体制の構築
- 2 わかものの活躍を後押しする機運の醸成と経済的な支援
- 3 東海村に住みたいと思える「働く場」「ネットワーク」，「帰る場」の提供

### Village Action！（村（役場）が行う施策・事業の方向性）

- 1 こども・わかもののライフステージに応じた支援の実施  
 （幼少期：経済的支援ときめ細やかな相談・助け合い体制を両輪とした「伴走型」支援）  
 （小学期：全てのこどもの体験や成長を平等に支援する「応援型」支援）  
 （中学期：スポーツや芸術等の興味・関心を見つけ，高める「発展型」支援）  
 （高校期～：“やりたいこと”や“夢”の実現のための挑戦を後押しする身近な「プラットフォーム」の提供）
- 2 転入・U ターンを促進するための経済的誘導策の拡充と心地よい住環境確保支援

## 重点政策パッケージ2 テーマ：「新たな基盤整備」

### 新たなにぎわいを生み出す都市基盤のデザインとまちなみの整備

#### 地域幸福度（Well-Being）指標の構成カテゴリー

因子	主観	客観
移動・交通	36.3	45.3
公共空間	54.0	44.6

【出典】2024 年度版(令和 6 年度版) Well-Being 個別調査より、数値は偏差値を示す。

#### Our Action！（ビジョン実現のための方向性）

因子の変更・結果を追記

- 1 それぞれの地域の特徴に合わせた基盤整備の推進
- 2 “利用者目線”を重視した、満足度や快適性の高いインフラ整備への転換
- 3 地域の発展やにぎわい創出のために活躍する人材への支援

#### みんなの力で Let's Act！（村民・事業者も含めた村全体の取組みの方向性）

- 1 それぞれの地域の特徴に合わせた基盤整備に向けた機運醸成
- 2 今後の地域活性化へ向けた「対話」の促進

#### Village Action！（村（役場）が行う施策・事業の方向性）

- 1 国道の4車線化に伴う、村松・石神地区の新たな地区別計画の策定や規制の緩和
- 2 人々の交流促進や利便性向上を目指すまちなかのリデザイン
- 3 コミュニティセンターの地域活動拠点化に向けた新たな整備
- 4 新たな技術や効率化を取り入れた公共交通の再編

**重点政策パッケージ3 テーマ：「DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」**  
暮らしの便利さを高め、働き方を変えるDXの推進

**地域幸福度（Well-Being）指標の構成カテゴリー**

因子	主観	客観
デジタル生活	56.3	41.1
地域行政	60.8	56.9

【出典】2024 年度版(令和 6 年度版) Well-Being 個別調査より、数値は偏差値を示す。

**Our Action！（ビジョン実現のための方向性）**

- 1 より良い暮らし・働き方につながるDX（デジタルトランスフォーメーション）の実践、実現
- 2 地域コミュニティでのデジタル技術活用が“あたりまえ”となる支援

**みんなの力で Let's Act！（村民・事業者も含めた村全体の取組みの方向性）**

- 1 デジタル・ディバイド（情報格差）の解消へ向けた啓発の継続と技術的支援
- 2 デジタル化の加速へ向けた地域コミュニティにおける機運醸成と理解促進

**Village Action！（村（役場）が行う施策・事業の方向性）**

- 1 高度化する情報化社会に対応するインフラ整備の促進
- 2 生活利便性向上のための新しいシステムの導入
- 3 役場来庁者の利便性と満足度を高める窓口・オフィス改革の実現

## 重点政策パッケージ4 テーマ：「安全・安心の確保」

### 多様性を基礎とする防災対策と心身が安心して過ごせるセーフティネットの構築

#### 地域幸福度（Well-Being）指標の構成カテゴリー

因子	主観	客観
自然災害	62.9	53.5
事故・犯罪	55.9	51.9

【出典】2024 年度版(令和 6 年度版) Well-Being 個別調査より、数値は偏差値を示す。

#### Our Action！（ビジョン実現のための方向性）

- 1 「激甚化+頻発化」を考慮した防災対策
- 2 個別ニーズに寄り添った災害時情報伝達手段や避難環境の整備
- 3 “安心感”が持てる社会的セーフティネットの構築

#### みんなの力で Let's Act！（村民・事業者も含めた村全体の取組みの方向性）

- 1 多様な場面や人を想定した、リアリティを重視した避難訓練等の実施
- 2 見守り、声掛けなどの「助け合い」の大切さを再認識し、地域の安全・安心力を高める。

#### Village Action！（村（役場）が行う施策・事業の方向性）

- 1 環境変化に応じて常にアップデートする防災対策の推進
- 2 多様な手段を活用した災害時情報伝達手法の確立
- 3 「原子力発祥の地」としての原子力防災・教育・広報の実施
- 4 一人ひとりが安心できるくらしの確保と居場所と役割が持てる場の創出

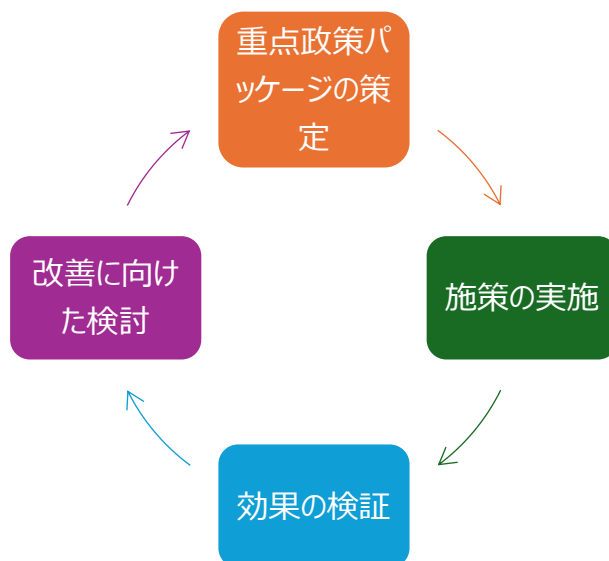
#### 4 新たな総合計画を通じた本村の将来像

**図・イラスト等**  
**本村の将来像を示すビジュアル等**

## 5 今後の推進体制と管理

### (1) 地域幸福度の向上に向けて

地域幸福度(Well-Being)指標は定期的に測定し、それぞれの重点政策パッケージがベンチマークの対象としているカテゴリーを構成する因子について分析を行います。分析の結果を踏まえ、各種施策の方向性を検討することで、計画の推進を通じた幸福度の向上にむけたサイクルを着実に回すとともに、機動的で柔軟な行財政運営を進めます。



### (2) 地域幸福度指標を活用した「アジャイル型」の政策形成・評価のイメージ

- ビジョンを明確に定め、達成のための方法（施策）を明示します。
- できるだけ多くの頻度、短い間隔で位置測定と航路修正を行います（＝毎年度の個別調査の実施）。
- 具体的な航路修正の方法（方向、速度、舵操作）を用います（＝事業の実施）。



出典：総務省「令和4年度政策評価に関する統一研修」資料より

20

## (2) 計画の推進体制

市内…事務事業評価，地域戦略推進実行本部

市外…総合計画審議会

広聴…アンケート

## (3) 計画の進行管理

スケジュール（予定）

4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
事務事業評価			
	アンケート <b>責課作成</b>		
		総合計画審議会	
			公表

## 資料編

### （１）各重点政策パッケージでベンチマークする地域幸福度指標のカテゴリーについて

本編記載の通り、それぞれの重点政策パッケージには、ベンチマークすべき地域幸福度指標の構成カテゴリーを設定している。以下に該当する各カテゴリーを構成する指標のカatalogを示す。なお、各内容は令和6（2024）年10月時点の公表版に基づく。

## 重点政策パッケージ1 テーマ：「人口減少対策」

**こども・わかものの活躍を応援する、若々しく住み心地・暮らし心地のよいまちの実現**

### 子育て

主観評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子育て支援・補助が手厚い</li> <li>■ 子どもたちがいきいきと暮らせる</li> </ul>
客観評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 保育所まで1km未満の住宅割合</li> <li>■ 可住地面積あたり幼稚園数</li> <li>■ 施設あたり幼稚園児数（-）</li> <li>■ 人口あたり待機児童数（-）</li> <li>■ 歳出総額における教育費の構成比</li> <li>■ 合計特殊出生率</li> </ul>

### 多様性と寛容性

主観評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある（異質性・多様性）</li> <li>■ 私は見知らぬ他者であっても信頼する（異質性・多様性）（過干渉・不寛容）</li> <li>■ 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる（一体感）（過干渉・不寛容）</li> <li>■ 女性が活躍しやすい</li> <li>■ 若者が活躍しやすい</li> </ul>
客観評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 議会における女性議員の割合</li> <li>■ 自治体の管理職職員における女性の割合</li> <li>■ 自治体職員における障害者の割合</li> <li>■ 人口あたり外国人人口</li> <li>■ 多様性政策指数</li> </ul>

## 重点政策パッケージ2 テーマ：「新たな基盤整備」

### 新たなにぎわいを生み出す都市基盤のデザインとまちなみの整備

#### 移動・交通

主観評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公共交通機関で好きな時に好きなところへ移動ができる</li> </ul>
客観評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 駅またはバス停留所徒歩圏人口カバー率</li> <li>■ 駅およびバス停徒歩圏人口密度 (-)</li> <li>■ 人口あたり小型車走行キロ (-)</li> <li>■ 通勤通学に自家用車・オートバイ・タクシーを用いない割合</li> <li>■ 職場までの平均通勤時間 (-)</li> </ul>

#### 公共空間

主観評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい（相性）</li> <li>■ まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある</li> </ul>
客観評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公園緑地徒歩圏人口カバー率</li> <li>■ 人口あたり公園の面積</li> <li>■ 歩道設置率</li> <li>■ ウォーカブル指数</li> </ul>

## 重点政策パッケージ3 テーマ：「DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」

### 暮らしの便利さを高め、働き方を変えるDXの推進

#### デジタル生活

主観評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 行政サービスのデジタル化が進んでいる</li> <li>■ 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい</li> </ul>
客観評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自治体 DX 指数</li> <li>■ デジタル政策指数</li> <li>■ デジタル生活指数</li> </ul>

#### 地域行政

主観評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域の行政は、地域のことを真剣に考えている（地域行政）（社会関係資本）</li> <li>■ 公共施設は使い勝手良く便利である（利便性）</li> </ul>
客観評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人口あたり体育施設利用者数</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人口あたり図書館帯出者数</li> <li>■ 人口あたり博物館入館者数</li> <li>■ 地域財政指数</li> </ul>
--	--

#### 重点政策パッケージ4 テーマ：「安全・安心の確保」

##### 多様性を基礎とする防災対策と心理的安全性を高めるセーフティネットの構築

#### 自然災害

主観評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。</li> </ul>
客観評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外水氾濫危険度</li> <li>■ 高潮危険度</li> <li>■ 土砂災害危険度</li> <li>■ 地震動危険度</li> <li>■ 津波危険度</li> <li>■ ハード対策</li> <li>■ 避難・救助</li> <li>■ 要配慮者支援</li> <li>■ 防災教育</li> <li>■ 防災まちづくり</li> <li>■ 情報・デジタル防災</li> </ul>

#### 事故・犯罪

主観評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい</li> <li>■ 歩道や信号が整備されていて安心である</li> </ul>
客観評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人口あたり交通事故件数*（-）</li> <li>■ 人口あたり刑法犯認知件数*（-）</li> <li>■ 空家率（-）</li> </ul>

（備考）

\*各都道府県・市区町村 HP 等から取得

（-）のある KPI は高い方が偏差値が低く算出